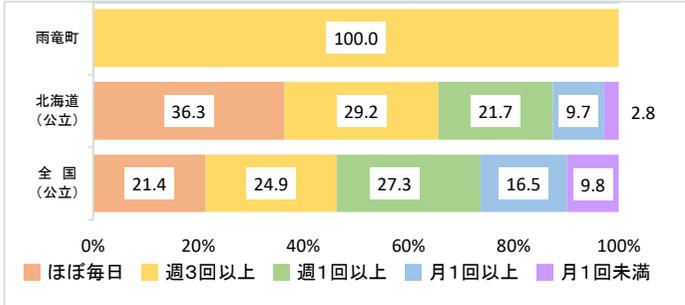


○ 質問調査の状況

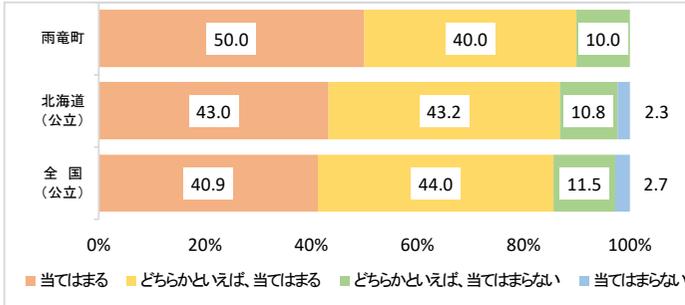
小学校  
＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



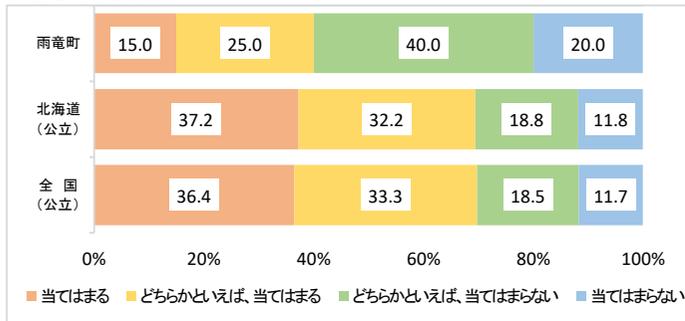
小学校  
＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか



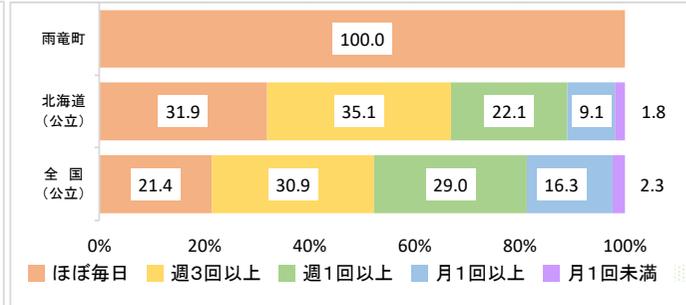
小学校  
＜児童質問＞

読書は好きですか



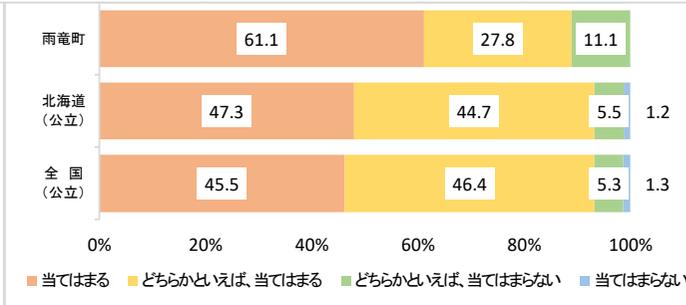
中学校  
＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



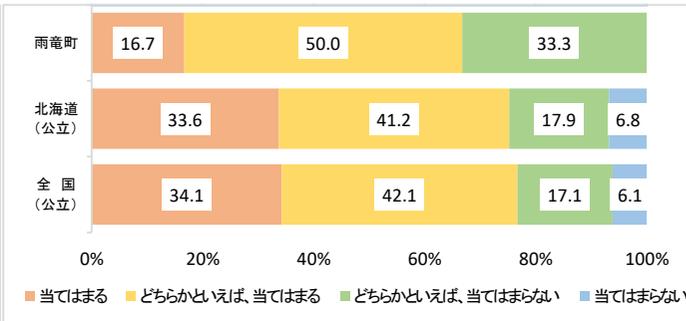
中学校  
＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校  
＜生徒質問＞

数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



○ 調査結果の分析

・小学校において、児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校国語「読むこと」の領域の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、読書は好きと回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

・中学校数学の平均正答率が全国を下回っている状況は、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えると回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

・小中合同教員研修を通じた授業改善の取組と小中相互乗り入れ指導の実施

・ICT端末の活用による指導方法の工夫改善と効果的な学習の推進

・小中学校で連動した家庭学習強調週間の設定による家庭学習の時間と質の向上